

市民公開講演会

北極の島グリーンランドの暮らしと気候変動



2024 2/3 |土| 13:00-16:00

会場 日本科学未来館 7階 未来館ホール

入場無料*・1/27まで要申込

登壇者 下田高明 (ロイヤルグリーンランドジャパン) / 富安信 (北海道大学 水産科学研究院)
遠藤励 (写真家) / Pipaluk LYKKE (グリーンランド・オスカー委副委員長)
Alyne DELANEY (東北大学 東北アジア研究センター)



お申込みと
詳細はこちら!



グリーンランドの暮らしと気候変動

主催 東北大学東北アジア研究センター・ArCSII社会文化課題
問い合わせ greenland-cneas@grp.tohoku.ac.jp

後援 ロイヤルグリーンランドジャパン・デンマーク王国大使館

*日本科学未来館の常設展・ドームシアターへの入場には別途入館料がかかります。



ROYAL DANISH EMBASSY
Tokyo

北極の島 グリーンランドの 暮らしと気候変動

このイベントでは、世界で最も強く気候変動の影響を受けている場所のひとつであるグリーンランドを紹介します。現地の活動家、写真家、漁業関係者、研究者からなる講演者らが、漁業、狩猟、伝統文化、現代社会に着目して、グリーンランドの人々と氷の海とのつながりについて語ります。

❖ 登壇者紹介



Alyne DELANEY (デレーニ・アリーン)

東北大学東北アジア研究センター 准教授

米国出身、デンマーク国籍も持つ、2018年より東北大学准教授。文化人類学者として、日本および世界各地の沿岸地域社会における適応と生活様式を研究。2011年からグリーンランドでフィールドワークを行い、現在の研究にはカッナク地域における食料主権について研究している。



下田高明 (シモダ・タカアキ)

ロイヤルグリーンランドジャパン 代表取締役

1988年の設立以来、ロイヤルグリーンランドジャパンの常務取締役を務める。グリーンランドとその沿岸の豊かな海で漁獲された高品質の甘エビなどの加工・販売を主な事業としている。事業の基盤である北極圏の漁場の自然環境の保全に努め、グリーンランドの地域社会に常に還元している。



富安信 (トミヤス・マコト)

北海道大学 水産科学研究院 助教

1990年群馬県生まれ。日本学術振興会特別研究員PDなどを経て現職。専門は水生生物の行動計測学および漁具漁法。著書に「海で身体のすべてを耳にする(2022, 海文堂出版)」などがある。2019年よりグリーンランドでワークショップやカッナク村の漁師と共同作業などの研究を行う。



遠藤 励 (エンドウ・ツトム)

写真家

スノーボードに精通し、国内外のボードカルチャー誌やメディアに作品を提供。近年は北極圏への遠征を重ね、急激な気候変動が生態環境や地域文化に与える影響をテーマにした作品を制作するなど、ドキュメンタリー撮影を続けている。長野県大町市出身、在住。作品集『INNER FOCUS』(小学館)、グリーンランドの先住民文化をまとめた『MIAGGOORTOQ』(2023)を刊行。



Pipaluk LYKKE (ピパルク・ルッケ)

グリーンランド・オスカー委副委員長

ピパルク・ルッケはグリーンランド出身で、イヌイットの文化的慣習に関する知識と経験を持つ。汎イヌイット犬ぞりの保護と発展、グリーンランドと北欧の青少年への海の安全教育などに携わる。また、グリーンランド映画シーンの発展にも携わり、グリーンランドとデンマークで映画への資金援助を行っている。

❖ プログラム

13:00 開会挨拶

13:05 **Alyne DELANEY**
「グリーンランド社会の紹介」

13:15 **下田高明**
「日本におけるグリーンランド産水産物の歴史」

13:25 **富安信**
「北グリーンランドにおける最先端の漁業研究」

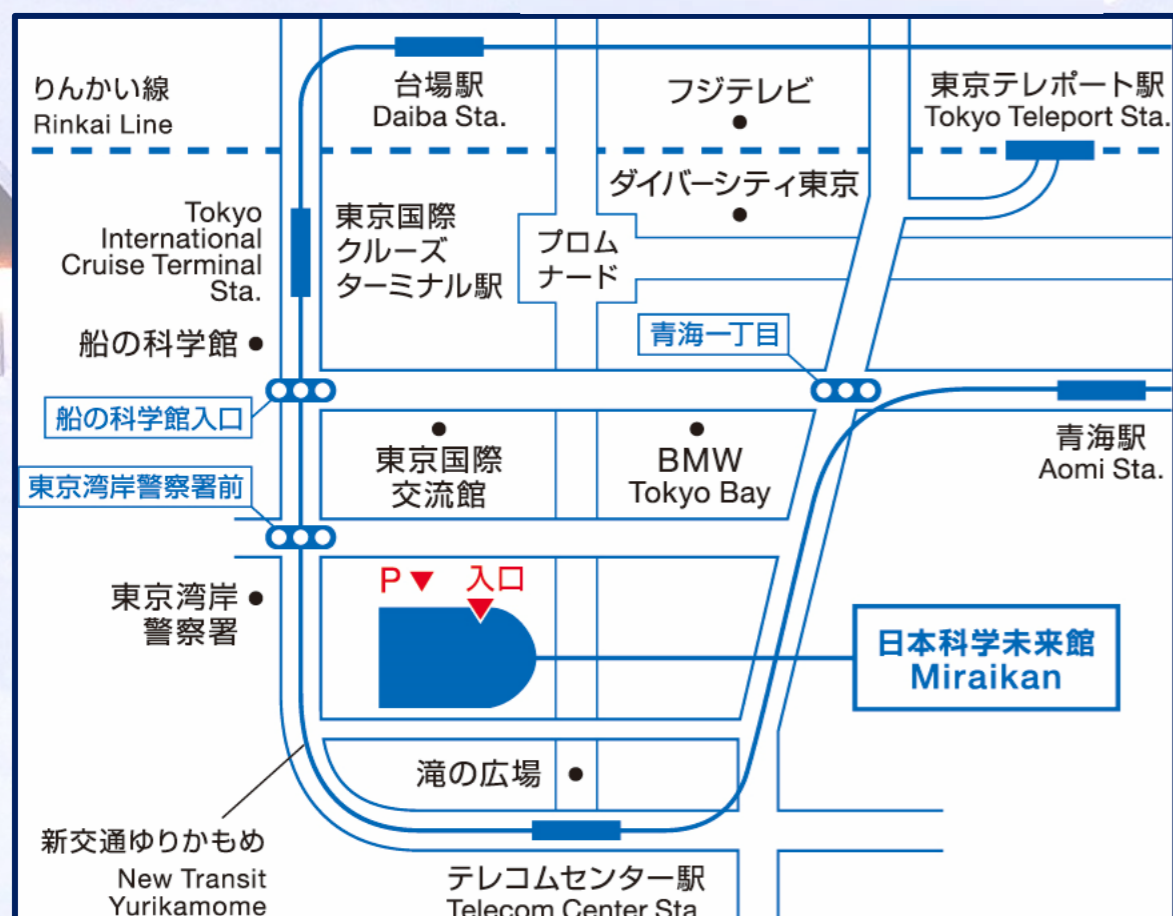
13:55 **遠藤 励**
「狩猟から見た気候変動のビジュアル・ドキュメント」

「休憩」

14:40 **Pipaluk LYKKE**
「グリーンランドのイヌイットが見た人と海の現在」

15:30 質疑応答 (Q&A)

16:00 閉会挨拶



ROYAL DANISH EMBASSY
Tokyo